

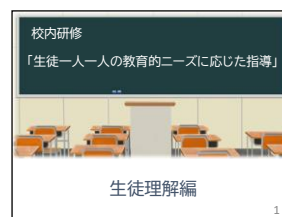
# 校内研修用スライド 活用ガイド

校内研修用スライドは、通級による指導について概略的に理解できる「理解編」、校内支援体制や具体的な指導内容について理解するための「具体的指導内容編」、指導内容を考える際の視点となる「背景要因」について考える「生徒理解編」があります。校内研修を行う際に、一つ一つを使って行うことができますが、実施する内容によって校内研修用スライドを組み合わせることもできます。

## 研修の内容を決める

「通級による指導について、先生方に理解を深めてもらいたい。」

「支援を必要とする生徒に対する指導や支援の方法について、みんなで考えたい。」



「理解編」+「具体的指導内容編」

「生徒理解編」+「具体的指導内容編」

※ 研修会スライドは自由に編集できます。

組み合わせた場合の研修時間は45分～1時間程度を想定しています。



## 研修の展開例

※ 「生徒理解編」+「具体的指導内容編」を組み合わせた研修の例

時間	研修会の流れ	留意点
10分	1 研修の目的や流れについて説明する。 2 「冰山モデル」を使って背景要因について説明する。	・「高校通級スタートパック」に登場する生徒の一人を例にして、冰山モデルについて説明する。 ・説明をする前に生徒の実態を配付し、読む時間をとる。
30分	3 生徒の背景要因について考える。  4 生徒への具体的な指導内容について考える。	・ワークショップ形式で演習を行い、別な生徒の背景要因を考えてもらう。個人で背景要因を考えた後に近くの人と話し合う時間を取り、意見を交流する。共有した意見はワークシートに記入し、全体で共有できるようにする。  ・背景要因を踏まえ、指導内容を考えてもらう。指導内容を考える際には、生徒の強みに目を向けることを伝える。 ・指導内容を考えてもらった後、「具体的指導内容編」を使って具体的な目標や指導内容について例示する。
5分	5 研修の振り返りをする。	